

【学会奨励賞受賞記録】

受賞年度	氏名	所属	受賞部門	タイトル
2019年度(令和元年)	伊藤 文武	京都府立医科大学大学院 女性生涯医科学	基礎研究	ホルモン補充療法におけるエストロゲンおよびプロゲステロゲンの動脈硬化発症リスクへの影響
	廣瀬 明日香	東京医科歯科大学医学部附属病院 周産・女性診療科	臨床研究	中高年女性の精神・身体症状の特性、および食品・栄養素がそれらに与える影響について
2018年度(平成30年)	原田 美由紀	東京大学医学部産婦人科	基礎研究	卵巣局所因子から見た卵巣機能制御機構 ～卵巣機能と女性の健康を考える～
	飯野 香理	弘前病院 産婦人科	臨床研究	妊娠時の情報を利用した 将来の心血管疾患予防
平成29年度(2017年)	北島 百合子	長崎大学産婦人科	基礎研究	エストロゲン欠乏が骨格筋に与える影響と そのメカニズム
	平沢 晃	慶應義塾大学医学部産婦人科学教室	臨床研究	婦人科疾患ゲノム異常の探索と 女性ヘルスケアの個別化
	千場 直美	神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域母性看護学分野	看護研究	更年期女性のヘルスケア向上に役立つ看護
平成28年度(2016年)	澤田 健二郎	大阪大学医学部産婦人科	臨床研究	ラロキシフェンの骨折抑制効果および女性のヘルスケア向上薬としての 可能性の検討
平成27年度(2015年)	太田 邦明	那須赤十字病院産婦人科	基礎研究	雌性骨カップリング機構における破骨細胞-骨芽細胞間のクロストーク 機構の解明
	松下 宏	愛知医科大学産婦人科	臨床研究	閉経後骨粗鬆症の予防に関する研究
平成26年度(2014年)	平池 修	東京大学医学部産婦人科	基礎研究	エストロゲン標的組織の病態発症に関与する分子制御機構解明を目的 とした基礎的研究
	篠原 康一	愛知医科大学産婦人科	臨床研究	女性医学から見た心血管疾患リスクとしての子宮内膜症とその治療法
平成25年度(2013年)	岡野 浩哉	飯田橋レディースクリニック	臨床研究	更年期医学/女性医学を基礎とした女性ホルモンとの歩み
平成24年度(2012年)	高橋 一広	山形大学医学部産婦人科	基礎研究	エストロゲンおよび選択的エストロゲン受容体調節薬の抗動脈硬化作用 についての臨床的・基礎的研究
	寺内 公一	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 女性健康医学講座	臨床研究	婦人科更年期外来受診患者および長期フォロー患者からみたエストロ ゲン低下を主因とする各種疾患の実態解明とその治療法としてのホル モン補充療法の意義について
	牧田 和也	牧田産婦人科医院	臨床研究	周閉経期・閉経後女性における不眠